

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	独語第一		
英文授業科目名	Elementary German I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	市岡 正適(学内連絡教官 坂本 真樹)		
居室	埼玉医科大学		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ichioka@saitama-med.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
(a)主題： ドイツ語の特色の理解とドイツ語の基本の習得(1)
(b)達成目標： 格変化と人称変化というドイツ語文法の特色を理解し、的確に辞書がひけるようになる。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
教科書：在間著『新生ドイツ語文法』（朝日出版社） 辞書：授業中に紹介する。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

#### (a)授業内容：

第1回(4月12日)：授業についてのガイダンス

第2回(4月19日)：ドイツとドイツ語について、発音(1)

第3回(4月26日)：発音(2)

第4回(5月10日)：動詞の人称変化

第5回(5月17日)：文の作り方

第6回(5月24日)：文法上の性と格変化(1)

第7回(5月31日)：文法上の性と格変化(2)

第8回(6月7日)：冠詞類(1)

第9回(6月14日)：冠詞類(2)

第10回(6月21日)：前置詞の格支配(1)

第11回(6月28日)：前置詞の格支配(2)

第12回(7月5日)：複数形

第13回(7月12日)：話法の助動詞

#### (b)授業の進め方

解説によって文法事項を理解し、さらに、練習問題を、辞書をひきながら解いてもらいます。なお、小テストをできるだけ毎回行います。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a)評価方法：

試験の成績の平均点(80%)+小テストの成績(20%)

なお、出席状況を加味する場合があります。

#### (b)評価基準：

辞書を参照しながら、基礎的なドイツ語文が読めることを、最低の合格レベルとします。

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。質問等は電子メールで受け付けます。

### 【学生へのメッセージ】

この学期は、ドイツ語入門です。具体的には、文法事項に沿って少しずつドイツ語を読んでもらいます。外国語は英語だけではないし、アメリカだけが外国ではありません。大学生になったからには、英語以外の外国語の窓も開いてみましょう。新しい体験を楽しんでください。

### 【その他】